2026 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	孫占坤（ソンセンコン）
演習テーマ	国際関係の構造とその変容を考える
内容と 卒業論文の 指 導 方 針	進行中のウクライナ戦争、中東紛争、東アジア地域の情勢を意識しつつ、平和研究、安全保障関連の文献を講読し、履修者各自に卒論のテーマを設定していただく。卒論の完成に向け、ゼミでの各種の発表・議論、教員とのマンツーマンの個別指導等を通して、レベルの高い卒論の提出を目指す。
メール・アドレス	sun@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	
授業概要	演習１、演習２A、演習２B の勉強の集大成として、各履修者に卒論テーマを設定してもらい、卒業論文を完成していただく。テーマの選択は自由だが、このゼミで担当教員が指導可能なテーマは、民族・地域紛争、安全保障関連のものとなります。ゼミ入り（移籍）に当たって、この点を十二分に留意すること。
学習目標	卒業論文の仕上げを通じ、テーマの発見・設定能力、参考文献の読みこなす能力、更に、テーマについて論理的に説明し、組み立て行くという論証力を身につけていただくことを学習目標とする。
授業計画	詳細は新年度向けの「シラバス」を参照していただきたいが、年間計画の大枠として次のように考えている。 春学期：卒論「構想」発表、「文献紹介」発表、「論文の書き方」についての説明、共通文献の輪読・発表等。 秋学期：卒論「構造」発表、「文献紹介」発表、「引用の仕方・註の付け方」の説明、共通文献の輪読・発表、卒論のマンツーマン指導等。
予習	報告内容や報告の進め方等についての事前予習が必須。
復習	授業で出た問題点について更なる学習が求められる。
授業に関する 注意事項	就職活動等の理由で頻繁にゼミ欠席する人に、このゼミはお勧めできない。
教科書	斉藤孝・西岡達裕『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部。
参考書	尹健次『民族幻想の蹉跌―日本人の自己像』岩波書店。
成績評価の基準	授業への参加：50%、レポート：50%
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	<u>可</u> ／ 否 ／ その他（　　　　　　　　　　）
備考	